

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で9,800cells/ml、シャットネラ属が最高で490cells/ml、ディクチオカ・フィビュラが最高で30cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモイは全ての観測点で被害が想定される細胞密度になっています。
シャットネラ属は鳴無、中学校前、中学校(北)、目ノクソ、大鹿で被害が想定される細胞密度になっています。
慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	ディクチオカ・フィビュラ	珪藻類
中学校前	0m	1	0	0	550
	2m	1,230	250	20	200
	5m	3	8	5	100
目ノクソ	0m	10	2	0	650
	2m	9,800	100	0	500
	5m	90	4	0	100
光松	0m	1	0	0	1,550
	2m	5,700	0	20	25
	5m	83	0	1	200
大鹿	0m	25	0	0	550
	2m	6,000	10	0	100
	5m	112	0	1	25
水試小割前	0m	169	0	0	700
	2m	1,950	1	2	300
	5m	71	0	1	50
鳴無	0m	770	0	0	
	2m	650	250	10	
	5m	4	15	15	
中学校前(北)	2m	380	490	30	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ディクチオカ・フィビュラ(魚類のへい死):
赤潮発生時

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>